

異常気象増加で今後も起こりうる断水。

断水に備えよう!

突然、濁流が襲来!



江別の水源は千歳川とその支流の漁川で、千歳川からの取水は市水道部の上江別浄水場と、漁川からの取水は恵庭にある石狩東部広域水道企業団(石東)の漁川浄水場の2カ所から水道が供給されています。その水源の源流となる支笏湖周辺で、11日の早朝の数時間で150mmを超える集中豪雨が起き、午前6時頃には漁川浄水場で濁度の数値が浄水できる上限の1000度を超え、石東からの受水量に制限がかかり、今回、断水が生じなかった大麻や野幌鉄南地区に断水の危機が迫りました。市水道部では上江別浄水場での取水を増やして凌ぎました。しかし、午後5時過ぎ、千歳川に突然、濁流が押し寄せ、通常は10度~30度の濁度は浄水上限の1000度を超え、午後7時近くには4519度に。上江別浄水場では18時45分に取水を停止しました。

上流の計測強化へ

江別市では広報車などによる断水の広報に務めたものの、江別地区では20時過ぎに断水、多くの市民には“寝耳に水”的断水に。不眠不休で対応に当たった市水道部は「突然の濁流による濁度の急上昇で、対応が遅れた」とし、「今回の経験で、上流地域にある浄水場との情報交換の徹底や、上流地域の豪雨時には職員を現地に向わせて、濁度を計測するなどによって、断水の場合の情報をすぐ市民に提供できる体制をとりたい」としています。



備えは飲料以外に生活用水も

集中豪雨が今後、さらに増えると予測されており、市水道部では浄化能力の向上なども検討していますが、今回のような高濁度には技術面での対応は難しいとも。そうなると、家庭での備えが必要不可欠。市内各地に緊急貯水槽を増設している札幌市でも「飲料水の備蓄が必要」として、災害に備え、「一人あたり3リットル×3日分」の飲料水の保存を市民に求めています。

江別市内にも緊急貯水槽は5カ所設置されているものの、市水道部では備えとして、飲料水のほかに、生活用水として「浴槽に水を入れておくことなども大事。洗い物やトイレなどに後に立ちます」とも。今回は周辺自治体の応援などによる給水車で市内数ヶ所で給水が行われたものの、緊急の断水時でも「日頃の備えと早い情報提供で市民生活は守れるはず」と話します。

供給フロー図



空き家問題、解決いたします!

2015年2月中旬、東京虎ノ門支店 開設予定

相続したが使い道がない空き家

売るか、貸すか

自宅から遠く
管理ができない

子供に残すべきか?

相談相手がいない

先に解決
すべきか?



売却 × 賃貸 × 管理 × 買取
空き家相談
PERFECT PARTNER
パートナーパートナー有限会社

弊社在籍資格者
【空き家】問題
のプロスタッフいます!! 道内 5店舗



パーフェクトバー トナー株式会社 江別店
0120-915-353

北海道知事 石狩 (2) 第 7618 号
(公社) 全国宅地建物取引業協会連合会加盟
(公社) 北海道宅地建物取引業協会会員
(一社) 北海道不動産公正取引協議会加盟